

# 上越の国有林における取組

—令和6年度—

上越森林管理署



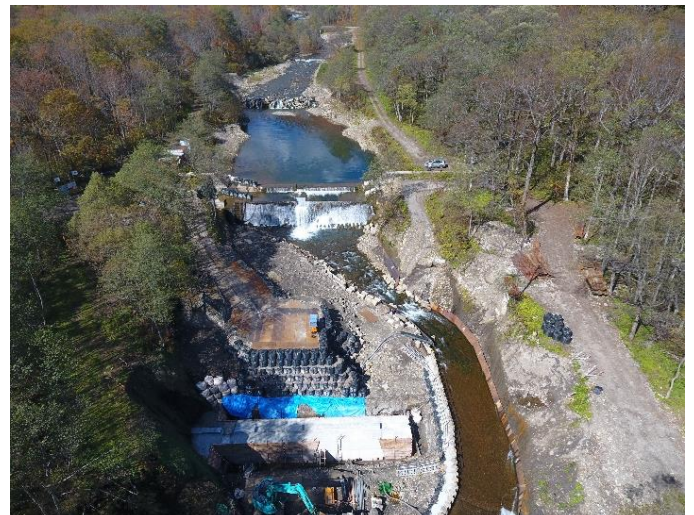
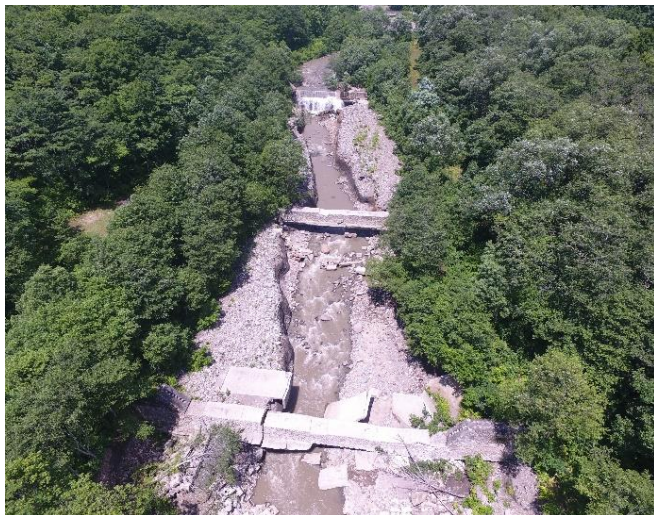
## ■ 関川流域における荒廃溪流の治山対策の推進

### 【妙高市 真川】

令和元年10月に発生した台風19号（令和元年東日本台風）の豪雨により、妙高市を流れる一級河川の関川支流の真川において、広範囲にわたり河川の荒廃が確認されました。

この河川荒廃により、河川に配置された既設治山ダムへの損傷、破壊も確認されたことから、令和3年度より事業を実施しています。

また、当流域は、上越地域の水がめでもあり、環境に配慮した取り組みを採用して、木材利用の推進、生態系に配慮した魚道の設置を行っています。



魚道を設置した治山ダム



真川支流 鍋倉沢の木製沈床工

# ■ 民有林直轄地すべり防止事業の着実な推進

## 【1. 上越市安塚区・牧区】

新潟県に代わって昭和35年以降今日までに地すべり防止区域6箇所において、本事業を実施しています。

令和4年度末までに3区域（清水平、市ノ沢、須川）については完成し、新潟県に移管しました。

現在、安塚区で2区域（伏野・上山：計835HA）、牧区で1区域（上牧：478HA）の合計3区域1,313HAにおいて、土留工、集水井工、横孔ボーリング排水工（地すべり防止を抑制する工種）や溪間工等の工事を実施しています。

土留工



施工前状況



完成状況

## 【2. 十日町市松之山】

新潟県に代わって昭和39年以降今日までに地すべり防止区域5箇所において、本事業を実施しています。

令和2年度末までに3区域（湯山、上鰯池2区域）については完成し、新潟県に移管しています。

現在、市内松之山で2区域（天水島：266ha、音沢（天水越）：273ha）の合計539haにおいて、杭打工（地すべりに直接作用する工種）、土留工、集水井工、横孔ボーリング排水工（地すべり防止を抑制する工種）や溪間工等の工事を実施、近年は過去に施工した構造物の維持管理を目的に修繕・補修工事も実施しています。

## ■山岳パトロールの実施

上越森林管理署では、登山シーズンに多数の入り込み客が集中し、植生荒廃やゴミの不法投棄等の恐れの高い国有林において、グリーン・サポート・スタッフ（GSS）を雇用し、入林者へのマナー啓発活動や不法投棄防止、標識や歩道の簡易な整備活動等の保全管理活動を進めています。

また、職員自らも国有林の境界管理を主目的としつつ、入林者へのマナー啓発活動等を実施しています。

### 【マナー啓発活動（しおりの配布）】



米山



妙高山

## ■地域への貢献

### 【1. イベントでの木工教室】

毎年、高田城址公園において、「上越市みどりのフェスティバル」が開催されています。令和2年度よりコロナ渦であったため中止となっていましたが、昨年度に引き続き、令和6年度もコロナ前と同様に祝日の「みどりの日」の開催となりました。

当署のブースは、スギの間伐材を利用した「森のかけらストラップ作り」で、参加した子供たちに楽しく木にふれあっていました。

また、各ブースごとに出題するクイズラリーでは、スギの輪切りを展示し「この木なんの木かな？」を出題しました。このような取組を通じ、市民の地域の森林・林業への関心を高めています。



ストラップ作り



クイズラリー

## 【2. 森林環境教育】

地球温暖化に伴う森林整備の必要性と森林の持つ様々な機能について学習を行い、将来を担う子供たちへの森林・林業の必要性・重要性に関する森林環境・森林教室への支援を行っています。

令和6年度は、小学校へ出向いての森林教室（座学）3回（5月、6月、9月）と、枝打ち等の体験林業2回（9月）を行いました。



森林教室（座学）



林業体験（枝打ち）



木の積木を使って学習



林業体験（丸太切り）

林業の説明の中で、SDGsについては妙高市より補足していただきましたが、日本の達成率が世界で21番目、日本の目標達成は2～3個であることを児童全員が知っており、小学校での環境学習が定着していることを実感しました。

体験林業では、枝打ちに興味を示す児童もあり、手の届く範囲の枝をきれいに落としていました。